

## クロマツシンポジウム 大会宣言

平成10年11月の大雪がきっかけとなって始まった砂丘地砂防林を守る活動は、約10年が経過した今、確実に広がり、ひとつひとつ実を結び始めています。今年度も、多くの人々が砂防林に入り、クロマツの手入れを行い、砂丘地砂防林のクロマツについて学習しました。

しかし、全国的に見れば、これまで緑の文化を育んできた松原が衰退の危機にあります。そこで、松原を守ることの重要性を訴えながら松原を守る活動をすすめて松原を救い、再び松原を元気にする「日本の松原再生運動」が平成18年から始まっています。そして、ここ庄内地方で、全国で最初の松原再生計画をつくる作業が進められています。

公益の精神のもと、300年の長い歴史の中で多くの先人達が守り、育ててきた砂丘地砂防林を受け継ぎ、地域の大いなる遺産として未来に引き継ぐために、新たに作られる松原再生計画のもと、これからも砂丘地砂防林を守り育てていくことを、ここに宣言します。

平成20年2月23日

クロマツシンポジウム